

# 兵庫県太子町 道路橋長寿命化修繕計画の概要



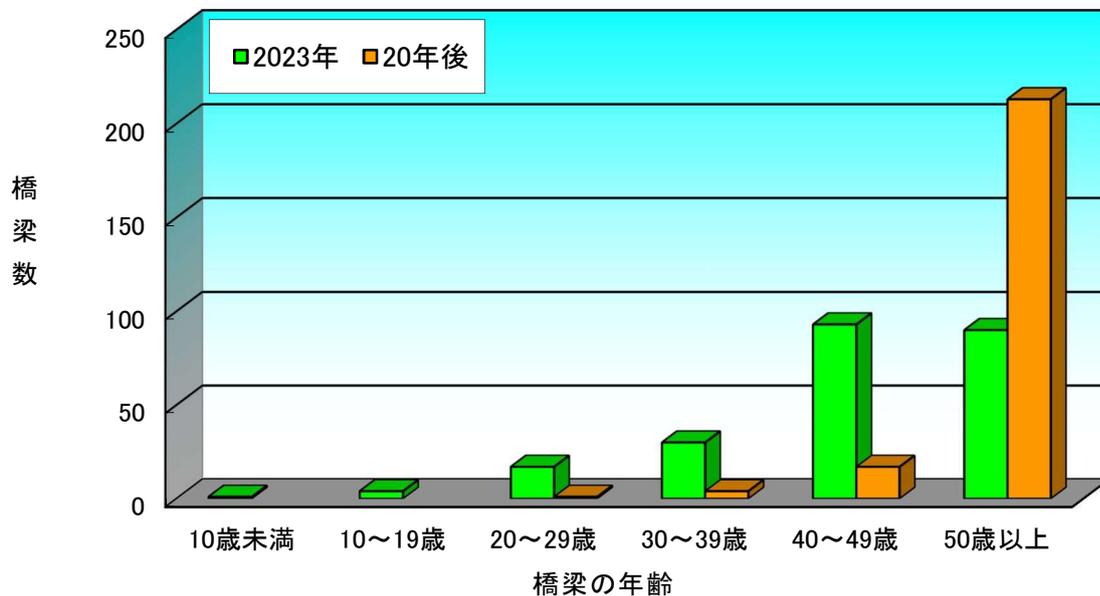
太子町マスコットキャラクター ほうじい

令和6年12月  
太子町 経済建設部  
まちづくり課

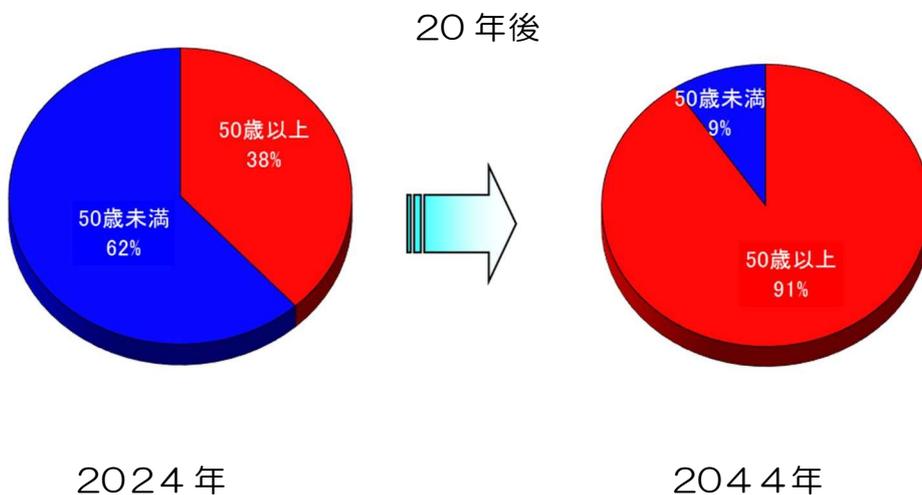
# 1. 長寿命化修繕計画の背景

- 太子町が管理する町道の橋梁（橋長 2m 以上）は、現在 178 橋（235 橋\*）あります。（\*構造単位の橋梁数です。以下のグラフは構造単位の橋梁数によります。）
- これまで太子町では、定期点検の結果を反映し、令和元年度に 177 橋（231 橋）の長寿命化修繕計画を策定しました。今回は、近接目視による定期点検の結果を反映させた全 178 橋（235 橋）の長寿命化修繕計画を策定したため、更新を行います。
- 235 橋のうち建設から 50 年を経過する高齢化橋梁は、2024 年で 93 橋（約 38%）ですが、今後 20 年後には 213 橋（約 91%）となり、急速に高齢化橋梁が増大します。
- このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに対応するため、計画的な補修が可能となるよう適切な予算計画を行い、安全性の確保とコスト縮減を図ることが必要です。

太子町が管理する橋梁の年齢の変化



高齢化橋梁の分布の変化



## 2. 対象橋梁

○令和6年度の長寿命化修繕計画の対象橋梁は、太子町が管理する全ての町道橋178橋を対象とします。



※ 判定区分：橋の健全性を示す指標。  
I～IVの4段階で表示し、I：健全、II：予防保全段階、  
III：早期措置段階、IV：緊急措置段階で表される。

全管理橋梁数	1級	2級	その他	合計
うち長寿命化修繕計画対象橋梁	20	18	140	178
○長寿命化修繕計画の対象橋梁：太子町が管理する全橋梁				

## 3. 太子町の管理理念

○太子町では、次の管理理念のもと「道路橋の長寿命化修繕計画」の策定及び、管理を行います。

### 1. 基本理念（基本姿勢）

**人々にやさしい安全な道路整備への取り組み**

～適切な維持管理による道路橋の確保～

### 2. 方針（進める際のルール）

- (1) 点検や補修対策を適切に実施するとともに、状況に応じた速やかな緊急対策を行い、道路橋の安全性を確保します。
- (2) 長寿命化を図るとともに、維持管理の効率化を図ることで、ライフサイクルコスト※1を抑制します。
- (3) PDCAサイクル※2により、常に見直しを行い個々の橋梁の安全性を確保するとともに、より効率的な修繕計画の実現を図ります。

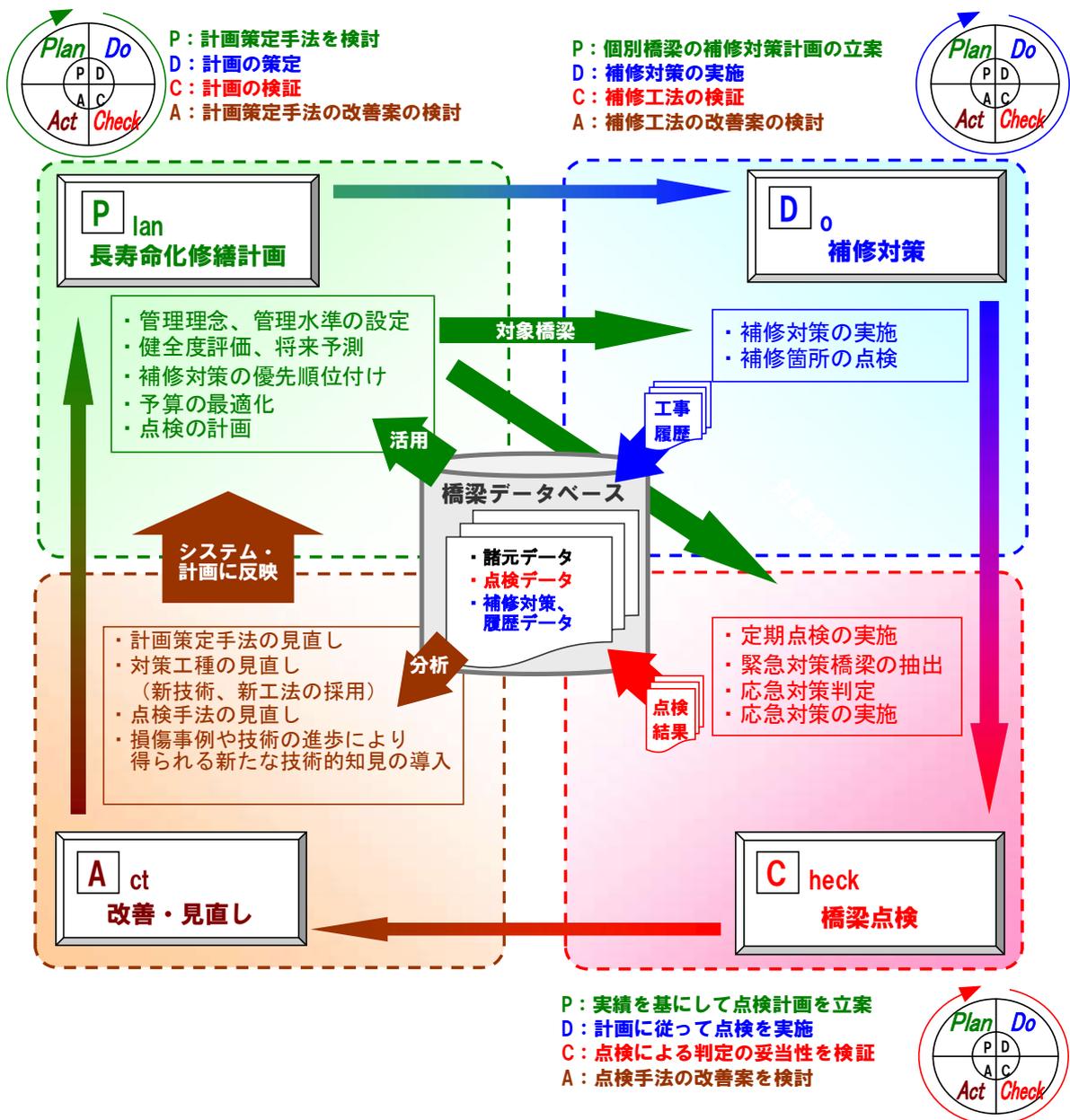
※1 ライフサイクルコスト：橋などの構造物を計画・設計・施工し、その構造物を維持管理して、最後に解体・処分するまでの構造物の全生涯に要する費用の総額のことをいいます。

※2 PDCA サイクル：Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を順に繰り返すことによって、業務を継続的に改善していくマネジメント(管理)手法の一つです。

### 3. 戦略（具体の進め方）

- (1) 橋梁点検を着実に実施します。
- (2) 深刻な損傷が発見された場合には、速やかに必要な緊急対策を実施します。
- (3) 計画的な補修対策を実施します。
- (4) データベース整備による施設管理データの有効活用を行います。
- (5) 適宜「長寿命化修繕計画」の見直しを行います。
- (6) 新たな知見を踏まえた継続的な改善を図ります。

### PDCAサイクルのイメージ



## 4. 橋梁点検

○計画的な維持管理を行っていくためには、道路橋の健全状況を把握することが重要となります。そのために、通常点検と定期点検により道路橋の健全状態を把握していきます。また、地震や台風などの自然災害時には、異常時点検を行います。

### 通常点検

道路パトロールに合わせて、目視によって実施します。

### 定期点検

基本的に5年に1回、「兵庫県道路橋定期点検要領（太子町版）」による定期点検を実施します。

（点検結果は別途公開します。そちらを参照して下さい。）

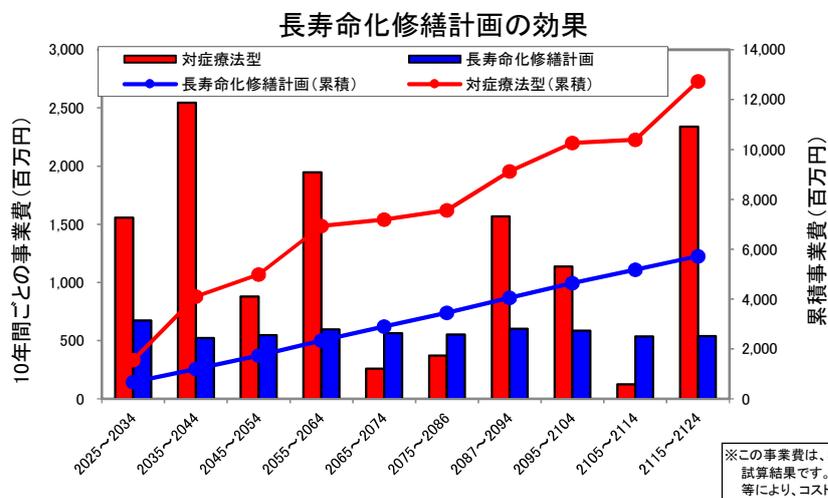
### 異常時点検

地震、台風、豪雨等により災害が発生した場合もしくは、その恐れがある場合と異常が発見されたとき、主に橋梁の安全性を確認するため点検を実施します。

## 5. 計画策定による効果

○これまで損傷が大きくなってから補修や架替えを行っていましたが、今後は長寿命化修繕計画に基づき、各橋梁の重要性や損傷状況に応じた計画的な補修や架替えを実施することで、今後100年間で約6割のコスト縮減が見込まれます。

○これまでの補修や架替えでは、膨大な費用が集中して必要であり、補修や架替えが困難になることが予想されますが、長寿命化修繕計画により、予算が平準化され、計画的な補修や架替えが可能となります。



## 6. 計画全体の目標

○今後10年程度で、管理する橋梁の1割程度で新技術を検討し、点検等の維持管理にかかる費用3百万円程度の縮減を目指します。

○今後10年程度で、補修・架け替えの検討が必要な橋梁のうち1橋程度の集約・撤去を検討し、対象橋梁の「補修費」「架替え費」に係る費用について、4,000百万円程度の縮減を目指します。

## 7. ご指導・ご助言を頂いた学識経験者

○この計画を策定するにあたり、神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻森川英典教授にご指導・ご助言を頂きました。

## 8. 担当部署

○兵庫県 太子町 経済建設部 まちづくり課  
TEL：079-277-5992（直通）